

市民生活を守る!! 物価高から市民生活を守るための緊急要望



長引くコロナ禍に加え、ロシアによるウクライナ侵略の影響等に伴う原油価格・物価高騰により、市民生活はますます不安定な状況となつています。このような状況を受け、政府においては、①原油価格高騰対策、②エネルギーや原材料、食料の安定供給

京都市長へ、総合緊急対策についての

緊急要望を提出

対策、③中小企業対策、④生活困窮者支援を柱とする「コロナ禍における『原油価格高騰・物価高騰等総合緊急対策』」を決定し、京都市においても37億7千万円の地方創生臨時交付金が交付されることとなりました。そのため、公明党京都市会議員団は、い

【緊急要望の内容】

- ①スピード感をもって物価高対策施策を検討、立案し、市会へ提案すること。
- ②運輸事業者をはじめ物価高の影響を受けている全ての事業者へ総合緊急対策の内容を十分に周知し、支援が行き渡るよう努めること。
- ③低所得の子育て世帯への現金給付に関しては、申請を必要とする世帯へ漏れなく案内し、希望する全ての対象世帯へ給付すること。
- ④地方創生臨時交付金の主旨を踏まえ、市民への効果的な支援を充分に検討すること。
- ⑤学校給食費の負担軽減を実施すること。
- ⑥自立相談支援や食料・生活用品等の物資支援等、生活困窮者等を支えるNPO法人や民間団体等への支援を実施すること。

京都市のウクライナ支援 姉妹都市キーウ(キエフ)に向けて ウクライナ支援の推進に向けた議員団ヒアリングを実施

現在(7月1日時点)ウクライナから京都市への避難民は30件35名となっており、情勢が長引く中、より丁寧な支援が必要となっております。公明党京都市会議員団では、6月3日に京都市国際交流会館内に設置している「ウクライナ・キーウ京都市民ぐるみ受入支援ネットワーク事務局」を訪問し、現在の取組状況と抱えている諸課題についてのヒアリングを行いました。お聴きした現場の声は、公明党のネットワーク力をいかして速やかに国へお届けいたしました。今後も充実した相談体制や各種支援となるよう取り組んでまいります。

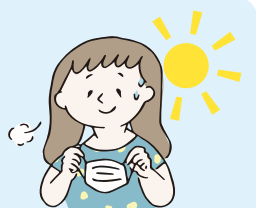


ウクライナ・キーウ受入支援ワンストップ窓口

場所: 京都市国際交流会館内(左京区栗田鳥居町2番地の1)

電話: 075-752-3511 メール: office@kcif.or.jp (ウクライナ語可)
休み: 月曜(祝日の場合は翌平日)及び年末年始

「夏の」 新型コロナウイルス 感染症対策に向けて



マスク着用は、基本的な感染防止対策として重要ですが、屋外では、人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。屋内では、人との距離(2m以上を目安)が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことが推奨されています。なお、通勤ラッシュ時や人混みの中、高齢の方と会う時や病院に行く時は、従来通りマスクを着用しましょう。また、マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

【京都府の方針等について】

京都府新型コロナウイルス
ガイドライン等コールセンター

電話: 075-414-5907 (平日9時~17時)

市民生活の向上へ代表質問

京都市会本会議の代表質問で、公明党京都市会議員団は市民生活向上のため京都市政について質問と提言を行いました。

令和3年11月市会

曾我修 議員(伏見区)

- 企業のSDGs登録・認証制度の創設
- デジタル化の進展に伴う個人情報保護とデータの利活用
- 新たな自転車政策の推進

SDGsの推進には、本市の「輝く地域企業表彰」や「これからの1000年を紡ぐ企業認定」といった取り組みと、民間企業のSDGsの推進を支援する金融機関の取り組みとも積極的に連携し、公民が一体となって企業を支援する登録・認証制度の構築ができるものと考えています。今後、令和4年度の制度運用開始に向けて取り組んでいく。との答弁がありました。

かわしま 優子 議員(伏見区)

- コロナ禍における健康増進の取り組み
- つながり支え合う支援体制の構築
- 新しい時代における学校教育・行事や活動のあり方

コロナ禍における健康リスクへの対応として、どのような時でも、あらゆる人が取り組める健康づくりの推進とフレイル対策事業の全市実施に取り組むと答弁。
今後の学校教育・学校行事のあり方については、世の中の変化に対応し、過去や固定観念に捉われない不断の見直しを進めていくとの答弁がありました。

令和4年2月市会

湯浅 光彦 議員(右京区)

- 令和4年度予算編成における「誰一人取り残さない」との理念の具現化は
- 食品ロス削減への更なる取組を求める
- 女性デジタル人材育成の取組

令和4年度は医療的ケア児への通学支援(ほか1問)

援、困難を抱える女性の相談・就業支援、児童虐待防止体制の強化、ひとり親家庭への支援等を充実していくと答弁。食品ロス削減についてはフードシェアリングや食品需要予測サービス事業者などデジタル技術を活用し、コンテンツを充実させていく。また、地域女性活躍推進交付金を最大限活用し、女性の活躍推進を加速していく。との答弁がありました。

平山 よしかず 議員(西京区)

- 行財政改革の断行
- 西京区の地域交通の検討実施
- 学童期の子育て支援の充実

行財政改革計画をブレずに実行するため、第三者視点をもって計画の進捗と達成度管理を行うべきと提言。市長からは行財政改革を条例に位置づけ着実に実行するとの答弁がありました。また、西京区において行政、交通事業者、市民が参画する地域公共交通検討会議の立ち上げを要望。更に、本市の児童虐待発生件数の34%が学童期の子どもに対するものであることから、学童期の子育てへの支援を充実すべきと求めました。

青野 仁志 議員(中京区)

- 京都経済再生に資するアート市場活性化
- 災害時に高齢者や障がいのある市民の命を守るための個別避難計画
- データ活用の健康づくり

芸術家及び支える事業者等と共に、世界に通用するアート市場の仕組みづくりが重要との訴えに対し、力強く取り組むとの答弁。また要支援者本人が家族等と避難計画策定のプロセスや訓練などを通じて避難の意欲を高めることが重要と主張したことに対し、着実に取り組むとの答弁。医療や健康に関する自身のデータを活用した健康長寿のまちづくりが必要との訴えに、積極的に取り組むとの答弁がありました。

公明党京都市会議員団の顔ぶれ

 ひょう どう 兵藤 しんいち 1期 文化環境委員会 TEL: 075-231-7407	 くに もと とも とし 国本 友利 3期 総務消防委員会 TEL: 080-9804-7802	 あお の ひ と し 青野 仁志 3期 まちづくり委員会 TEL: 090-8369-9953	 まつ だ こ 松田 けい子 1期 教育福祉委員会 TEL: 070-2266-9499	 だい どう よ し と も 大道 義知 8期 総務消防委員会 TEL: 075-921-3172
 ゆ あさ みつ ひこ 湯浅 光彦 5期 教育福祉委員会 TEL: 075-873-2501	 ひら やま 平山 よしかず 4期 産業交通水道委員会 TEL: 075-393-8806	 そ が お さむ 曾我 修 5期 まちづくり委員会 TEL: 090-8934-4643	 よし だ たか お 吉田 孝雄 4期 産業交通水道委員会 TEL: 080-9804-7801	 ゆう こ かわしま 優子 2期 文化環境委員会 TEL: 080-9804-9844

京都いつでもコール 市政情報総合案内コールセンター 午前8時～午後9時(年中無休)
市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。

● TEL: 075(661)3755 ● FAX: 075(661)5855

● 電子メール (以下のホームページから)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

右記の二次元コードから
携帯電話でアクセスでき
ます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市会議員団にお寄せください

- TEL: 075(222)3732
- FAX: 075(212)3608
- 電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp
- ホームページ: [公明党京都市会](#) [検索](#)